

くりんく

『くりんく』とは「栗原をリンクする」の意味。
Linkリンクとは、つなぐこと。連結すること。連鎖。

発行:栗原市在宅医療・介護連携支援センター

住所:栗原市築館宮野中央三丁目1番地1

TEL:0228-21-5357

FAX:0228-21-5358

メール:zaitaku@kam.or.jp



在宅センター
QRコード

日中はまだ暑い日が続いていますが、朝晩は涼しさを感じるようになってきました。「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉どおり、暑さとの付き合いももう少しでしょうか？さて、今回のくりんく第20号は、8月までに開催した各事業を紹介いたします。医療と介護の連携が深化されるよう、あの手この手で事業を計画しておりますので、在宅センターからのお知らせをお見逃しなく！

令和7年度第1回医療と介護の多職種交流会

多職種の連携強化を図ることを目的として令和7年度第1回医療と介護の多職種交流会を、4月22日(火)栗原中央病院講義室にて開催いたしました。始めに、栗原中央病院 院長 中鉢誠司先生より、病院から見える地域包括ケアシステムの現状や課題についてご講話を頂戴しました。その後、多職種間でよりお近づきになっていただくように、名刺交換会、グループワーク『チーム対抗！輪かざり作り』を行いました。短時間ではありましたが、ご参加いただいた80名の距離がグッと縮まった多職種交流会となりました。



栗原中央病院
院長 中鉢誠司先生



名刺交換会の様子。終了の合図が鳴っても気づかないほど大盛況！



『輪かざり作り』のルールは利き手を使わないこと。チームワークが勝利の鍵 どのグループも白熱しました



医療の知識を深めよう！令和7年度医療勉強会

医療職と介護職が互いの専門性や知識を語り合い、医療について知識を深める『医療勉強会』を、今年度も毎月開催しております。今回は、5月から8月に開催した医療勉強会についてご紹介いたします。医療の知識を得ることで医療職者との連携が円滑になるよう、今年度も引き続き開催いたしますのでどうぞご期待ください。ご参加をお待ちしています。

第1回

(5/22開催)

『在宅で行う床ずれ予防とストーマケア』
参加人数 77名

【講師】

栗原訪問看護ステーション
皮膚・排泄ケア認定看護師
大内淑子 氏



第2回

(6/10開催)

『患者と利用者
～医療と介護～』
参加人数 78名

【講師】

宮城県ケアマネジャー協会
栗原支部 理事
栗原訪問看護ステーション
介護支援専門員 千田麻美 氏



第3回

(7/22開催)

『救急について』
参加人数 75名

【講師】

栗原中央病院 外科医長
武山大輔 先生(左)
栗原市消防本部警防課
千葉 充 氏(右)



第4回

(8/19開催)

『循環器界隈の話』
参加人数 50名

【講師】

栗原中央病院
心不全療養指導士
澤邊直美 氏




循環器界隈〇×クイズ
も大好評でした！




令和7年度さざぼざの会 -第1弾 認定看護師と学ぼう！-


事例検討会や交流研修会を通して、職種・職能間連携を目的とした『さざぼざの会』。第1弾は、栗原中央病院に所属する認定看護師を講師に迎え、3回シリーズの勉強会を開催いたしました。緩和ケア認定看護師からは「グリーフケアとはどういうことか？」を絵本を通して学び、皮膚・排泄ケア認定看護師からは、褥瘡予防のためにできることやスキンケアの方法、感染管理認定看護師からは基本的な標準予防策やリネン管理などについて、明日からの業務に役立つお話でした。平日14時からの開催でしたが、どの回もたくさんの専門職の方がご参加くださいました。認定看護師による出前講座をご希望の方は、開催希望日の2か月前を目安に在宅センターまでお問合せください😊



第1回(6/24開催)
『「100万回生きたねこ」を通して
ACPとグリーフケアを学ぶ』
参加者40名
【講師】がん緩和ケア認定看護師
佐藤 麻美 氏



第2回(7/7開催)
『褥瘡予防とスキンケア』
参加者38名
【講師】皮膚・排泄ケア認定看護師
浅田 祥子 氏



第3回(8/7開催)
『やはり基本は標準予防策』
参加者37名
【講師】感染管理認定看護師
寺嶋 勉 氏

同職種間の連携強化！令和7年度 職能団体の会

同職種間の連携推進を目的とした『職能団体の会』を開催しました。6月20日(金)には『訪問看護師の会 まるっと』、8月8日(金)には『社会福祉士の会 糸の会』をそれぞれ開催しました。同職種でも、ゆっくりと情報交換をする機会が少なく、どちらの会も話が尽きず盛り上がりました。「次はこの職種と意見交換がしたい！」というご要望もあり、さらなる連携深化が期待できる会となりました！

訪看の会『まるっと』 参加者12名

アイスブレイクは、在宅センター恒例の『輪かざり作り』に挑戦！作戦を練って作るチーム、大胆に作り始めるチーム…チームのカラーが見られました😊



楽しく打ち解けた後は、グループごとに自由に意見交換を行いました。新たな気づきや、共感できる部分もたくさんあったのではないのでしょうか？

社会福祉士の会『糸の会』 参加者9名



社会福祉士として感じる連携の必要性や、仕事を通して日頃から感じていることなどの情報交換を行いました。仕事上では多少顔を合わせてはいるものの、じっくりとお話をする機会は少ない。社会福祉士がどの事業所に勤務されているかも把握できていないのだから…。今回は趣向を変え、ひざを突き合わせながらの和気あいあいとした会になりました。今回残念ながら参加ができなかった社会福祉士さん、次回お待ちしております。

告知

令和7年度医療と介護の市民向け勉強会『はなすこかたり』
“人生の心づもりお話会”開催決定！

日時：令和7年11月29日(土) 午後1時30分～午後3時

場所：若柳公民館(栗原市若柳川北古川83番地)

内容：講話『幸せに年を重ねるために、人生の心づもりをしませんか？！』

講師 岩手県立中部病院 副院長 星野 彰 先生

詳細は、在宅センターホームページ等でお知らせいたします。

ご参加を
お待ちしております。



【編集後記】みなさんは自分自身のこれまでとこれからの人生について大切な人とお話をしたことはありますか。11月29日に開催予定の“人生の心づもりお話会”では、星野先生をお迎えし心づもりの仕方についてお話を伺います。ご期待ください。